

業績推移

	2021年3月末 実績	2022年3月末 実績	2022年9月末 実績(半期)
預金積金残高	946億円	914億円	951億円
貸出金残高	595億円	623億円	664億円
コア業務純益	577百万円	674百万円	423百万円
当期利益	141百万円	183百万円	216百万円
自己資本比率	11.29%	11.03%	10.87%

2022
年度

ビジネスセミナー開催

当組合本店営業部の後援会である「ウリ札幌会」および「在日本朝鮮札幌商工会」、「在日本朝鮮北海道青商会」の共同主催によるビジネスセミナーを11月12日(土)、札幌パークホテルにて開催しました。

同セミナーは、北海道同胞企業の事業の発展と若手起業家の育成を目的に年1回定期的に行っています。

今年のセミナーは、東京証券取引所マザーズへ新規上場を果たした同胞企業家 谷口辰成(鄭辰成)氏の商品開発に係るご苦労と株式上場に至るまでの問題点など実体験をもとに分かり易い講義内容となりました。

セミナー終了後に行われた懇親会では、幅広い年齢層がテーブルを囲み親睦を深めました。

講師 谷口辰成(鄭辰成)氏プロフィール



谷口氏は、2002年10月に26歳の若さで有限会社セキュア(現株セキュア)を立ち上げ、ホームセキュリティ製品の開発に着手しました。同氏が開発したドアロック「セフィリオ」は、2006年に経済産業大臣賞を受賞し大ヒット、その後企業向けセキュリティ事業へ転換し、現在はAIを駆使した防犯カメラや顔認証監視システムなどを開発。また、防犯のみに止まらずマーケティング調査や営業支援などへの応用を進めています。

同社は、2021年12月に東京証券取引所マザーズ市場へ上場し、開発した商品は、「Yahoo!Japan」や「メルカリ」など大手企業をはじめ7,500社への導入実績があり多くの企業から支持されるなど注目を集めています。



▲オープンセミナー



▲〈ウリ札幌会〉蔣幸廣会長の挨拶



▲第2部 懇親会

新たなビジネスモデルのご紹介!!

第3回

コンフォートスペース 株式会社アールアイコーポレーション

代表取締役 **李 東賢**氏

就労継続支援B型事業所

就労系障がい福祉サービスには、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労定着支援の4種類のサービスがあります。同社は、一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である障がい者に対し、就労機会の提供及び生産活動の機会を提供する「就労継続支援B型」事業を平成29年より行っています。今回、2ヶ店目となる事業所<コンフォートスペース澄川店>を12月1日に開所しました。事業の内容は、データ入力業務(パソコン入力)を中心とした売上収入(工賃確保)と訓練等による給付金が事業収入となります。同社の特徴は、利用者の基本的な生活リズムや通所リズムを整えていくことを基本理念とし、初心者や未経験者でも出来るパソコンの簡単なデータ入力から始まり、WordやExcelなどのスキルアップを図り、自立支援に役立つことを目的としています。

また、事業所内にキッチンを設け栄養豊かでバランスの良い手作り昼食の提供や、利用者スタッフによるレクリエーション(食事会)を毎月1回行い、利用者のコミュニケーション能力向上に取り組んでいます。

障害者総合支援法における就労系障害福祉サービス

	就労移行支援事業 (規則第6条の9)	就労継続支援A型事業 (規則第6条の10第1項)	就労継続支援B型事業 (規則第6条の10第2項)	就労定着支援事業 (規則第6条の10)
事業概要	通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる者に対して、①生産活動、職場体験等の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、②求職活動に関する支援、③その適性に応じた職場の開拓、④就職後における職場への定着のために必要な相談等の支援を行う。(標準利用期間:2年) ※必要性が認められた場合に限り、最大1年間の更新可能	通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の支援を行う。(利用期間:制限なし)	通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行う。(利用期間:制限なし)	就労移行支援、就労継続支援、生活介護、自立訓練の利用を経て、通常の事業所に新たに雇用され、就労移行支援等の職場定着の義務・努力義務である6月を経過した者に対して、就労の継続を図るために、障害者を雇用した事業所、障害福祉サービス事業者、医療機関等との連絡調整、障害者が雇用されることに伴い生じる日常生活又は社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言その他の必要な支援を行う。(利用期間:3年)

地域貢献

献血活動



全国信用組合中央協会では毎年9月3日を「しんくみの日」と定め、信用組合業界では様々な社会貢献活動を行っています。当組合では9月6日に12回目となる献血活動を実施しました。当日は当組合役職員のみでなく地域のお客様にもご協力を頂きました。今後も社会・地域に貢献してまいります。



物価上昇の今だから ～ 組合員の皆様へ熱い思いを込めて～

生活応援 定期預金 「エール」

3年もの

0.60%

税引後: 0.478%

対象 個人組合員の方
※お預入れの際に同時に組合員になることも可能です。

ご契約金額 10万円以上
※お一人様何口でもお申し込みいただけます。

預入条件 新たなご資金での
お預入れが条件となります。

募集金額 30億円

当組合の全ての預金は
預金保険対象商品であり、
回保障の範囲内で
保護されます。

※期間終了前に募集金額に達した場合、お取り扱いを終了させていただきます。

※お利息には20.315%の国税・地方税(復興特別所得税0.315%を含む)が適用されます。

お取り扱い期間 2023年 **3/31**迄

10月12日(水)

北海道朝鮮初中高級学校の
課外授業として

中高級部生徒たちが 当組合本店を訪れました

学生達は、最初に民族金融機関が歩んできた歴史を映像と解説で学び、琴正煥理事長から「金融と金融機関の役割」と題した講義を受けた後に、組合の各部署を回り業務内容の説明を受けました。

その後、学生達は模擬紙幣でお札を数えたり、準備した自分の名刺を照れながら交換するなど楽しい体験をしました。

最後に、学生ひとり一人が課外授業の感想を述べ、民族金融機関の存在意義について理解を示しました。

当組合からは、学生達が寒い冬を温かく元気に乗り切れるよう「ウィンタージャケット」をプレゼントしました。



ウリ信用組合のご紹介

部長
紹介

部長就任のお知らせ

今年10月に融資推進支援担当部長に就任した沈相浩部長を紹介いたします。

沈 相浩 (57歳)

趣 味 スポーツ観戦

座右の銘 人間万事塞翁が馬

ひとこと 重責を担い、身の引き締まる思いです。これからは、ワンランク上の視野を持ち、組合経営への参画と組合員皆様のお役に立てる様、粉骨砕身職務に励みます。皆様よろしくお願ひ致します。



店舗
紹介

苫小牧支店のご紹介

9月末
実績

預金積金残高 7,038百万円
貸出金残高 1,047百万円
組 合 員 数 885人



苫小牧支店外観

苫小牧支店は北海道内支店1号店として1973年7月に営業を開始し、今年で51年目を迎えました。

営業エリアは主に胆振、日高、渡島、桧山地方を管轄しております。

苫小牧支店は太平洋を臨む場所に位置し、北海道の海の玄関「苫小牧港」、空の玄関「新千歳空港(千歳市)」のダブルポートを有し、ウトナイ湖、溶岩ドーム、世界的にも珍しい三重式火山の樽前山があります。

職員数は5名で、今年4月に新任した辛卿吾支店長を中心に勤続年数10年以上のベテラン職員

を揃えた店舗です。

苫小牧支店では「全員営業体制」として、全職員がお客様のライフステージに応じた預金・融資商品の提案活動を積極的に行っています。

また、お客様が安心して暮らせる将来のために、ライフプランの設計を一緒に考え、実現できるようサポートに努めています。

これからも「なんでも相談される店舗」として皆様に寄り添う身近な店舗を目指し精進してまいります。



苫小牧支店職員